

# MAIL MAGAZINE

メールマガジン

## ポルトガルと言えば“イワシ”？“ポル細”？

### JSC 貿易部ニュース

寒さもだいぶ和らいできた今日この頃。

今月も JSC 貿易部ニュースをご覧くださいありがとうございます。

実は、1月に初めてのポルトガル出張に行っていました。  
腰の痛さが尋常ではない長時間フライトを乗り越えて…  
いざ、リスボンへ。

さっそく黄金のイワシ（サルディーニャ）のお出迎えです。



突然ですがポルトガルと聞いて何が思い浮かぶでしょうか？

「ポル細！」が、一番に出てきたあなた様は生粋の石屋さん。

私の勝手な印象では、1. に海鮮と豚肉、2. にワインとコルク、3. にエッグタルトからの  
ファティマ大聖堂などなどですが…

到着後、まずは腹ごしらえと食堂へ。

古の海洋帝国が誇る海鮮料理は最高に日本人好みの味付けです。

国民食のバカリャウ（タラ）、イワシはあまりにも  
普遍で、西洋では珍しくタコも食べます。

リスボンのスーパーでは、圧倒的な物量で並ぶ  
肉！肉！肉！チーズ！チーズ！チーズ！の隣に  
これまた所狭しと並ぶ冷凍タラ。

ものすごく香ばしいにおいで鼻をつまみたくなり  
ます。





焼きカジキ ↑ 塩だけの素朴な味わい。たっぷりのオリーブオイルを添えていただきます。



こちらはイワシの唐揚げ。さすが天ぷら発祥の地だけあります。日本人の好みにバッチリはまります。

そして、紀元前 2000 年ごろに始まったと言われるポルトガルのワイン栽培。

一人当たりの年間消費量が世界一のポルトガルでは、「ワイン」はミネラルウォーターより安く、町の食堂では日本のお冷感覚のように各テーブルにピッチャーで配置されています。

そんなお国柄もあってか多少の飲酒運転もおとがめなし…？とのこと。

また、ワインはポルトガルの代表的な輸出品でもあります。

そんなワインの蓋に用いるためか“コルク”の生産量も世界一位。

道のいたるところに表皮が剥がれたコルクガシの木々が植えられています。その生産は徹底管理されているようで、勝手に伐採したりすると重く罰せられるようです。

ちなみに、ポルトガルの石屋さんでは、石の薄板にグラスウールとコルクボードを貼り付けた製品も生産中。軽量化した石の内装材として使用されているようで、商品としても面白いかなとは思いますが、日本でも中国でも消防法に引っかかるので導入は難しいかも…。

そして、カトリック修道院発祥とされるポルトガルのスイーツの数々も濃厚な甘さで舌を刺激します。中でも、旧ポルトガル領「マカオ」に行ったことがある方なら馴染み深い卵菓子。エッグタルト（カスタードタルト）パステル・デ・ナタは上品な和菓子にも似た優しい味わいで日本人の口にもよく合います。

その甘さは、「あれ？今インドにいるのかな？」と錯覚させてくれるほど・・・。  
緯度が高い国特有のキツイ日差しでやられた体力を回復する目的もあるのかも？

ちなみに。国民食でもあるこのお菓子、田舎で買うと 1 個 1€程ですが都会リスボンでは三倍ほどの値段がします。ファティマあたりで買うのがお買い得です。



5月ごろになると数万～十数万のキリスト教徒が訪れるという巡礼の地ファティマ大聖堂。訪れた際には時期も外れており夜だったこともあってか人はまばらでしたが、その荘厳さに震えました。キリスト教徒ではなくとも一見の価値アリです。

ここファティマは大理石の産地でもあり石の都でもあります。

ファティマ大聖堂の鐘の音→ <https://youtube.com/shorts/G7Zf2uUm6tU>

飛行場滑走路跡地の大理石置き場→ <https://youtube.com/shorts/Qithcn-vRNU>

## 今月の石のお話は「ポルトガル細目（SPI）」

以前採掘していた会社さんが倒産し、しばらく採掘が止まっていたポルトガル細目の丁場。現在は別の会社（建築石材会社）さんが引継いで採掘をしています。

今回は、国内外のお客様からご注文をいただいたポルトガル細目の原石検品のためにやってまいりました。会社が変わって最初の原石取引ということで、品質を先方任せにするのは少々不安だったので、調査を兼ねて検品に行ってきました。

広大な敷地には平均 15 トン超の原石がこれでもかと並んでいます、日本の墓石向けの品質を満たす原石は数百列ある中のたった 2 列のみです。



採掘をしている会社は建築石材の会社なので、板材用に角周りの大きい石を作る傾向にあります。なので、昔の石と比べると長尺材が少なく、長さは7～8尺が中心となっています。



ちなみに、石の情報管理に関しては、バッチリです。切り出した石にバーコードを打って、それぞれの石の情報を管理しています。

花崗岩でここまでしている会社は見たことがありません。

今回の「ポルトガル細目」は、トレーサビリティシステム+私の検品で品質は太鼓判です。ポルトガル細目をお求めの際は、是非とも日本石材センターにご用命ください。

ポルトガル細目丁場のショート動画↓



ポルトガル細目石置場ショート動画↓



では今月号も最後までご覧いただきありがとうございました。  
今後とも引き続きよろしくお願いたします。

2024/03/01